

みんなdeスポーツ！ わが町の取り組み

②②

岐阜県

岐阜県立東濃特別支援学校では、在校生や卒業生の保護者がサッカーを通して楽しむことのできるスポーツの実践、親睦、体力の向上、生涯体育の場の確保を目的として、平成9年にIBISサッカークラブを立ち上げた。

練習の他に、普及促進活動として次の活動を行っている。

- ①県内の特別支援学校サッカー部や卒業生クラブを招き、サッカーフェスティバルを開催
 - ②県外のサッカークラブとの交流会
 - ③地域の指導者によるサッカースクール
 - ④学校区内の特別支援学級とのボール遊び交流会等の実施
 - ⑤レクリエーション活動
- 小学生く大人が県内から集まり、月2回、日曜日の午前9時〜午後1時に本校グラウンドや隣接した高校

サッカークラブを生涯スポーツの場に

地域の特別支援学級との交流試合で鮮やかなプレーを見せる本校卒業生の高木優作さん



のグラウンドを借りて、競技力向上を目指す「本戦の部」と、楽しく身体を動かす「フレンドリーの部」の2グループに分かれて活動している。

特別支援学校高等部3年間の部活動だけでなく、卒業後も継続してスポーツを続ける環境を整える中で、以下の五つの力が身に付くことを願い、特別支援学校教員も保護者と共に子どもたちと関わっている。

①日常から何が最善であるか考える力

②地域の一員として役割を認識する力

③困難を乗り越える力

④弱者へ配慮ができる力

⑤自らの課題をみつけ、解決する力

このような願いを受けて、主体的に活動に参加する子どもたちの変化は、運動の場面だけでなく、日常生活の中にも着実に見られるようになった。この活動は、失敗経験から自信をなくした子どもたちに自信を持って生活するためのきっかけをつくり、卒業後もサッカーを通して継続して学び、社会参加にもつながる力を育むことができる場として重要な役割を担っている。今後も地域に根差し関わりを広げながら、永続的に活動していきたい。

(三好宗治・岐阜県立東濃特別支援学校高等部教諭)